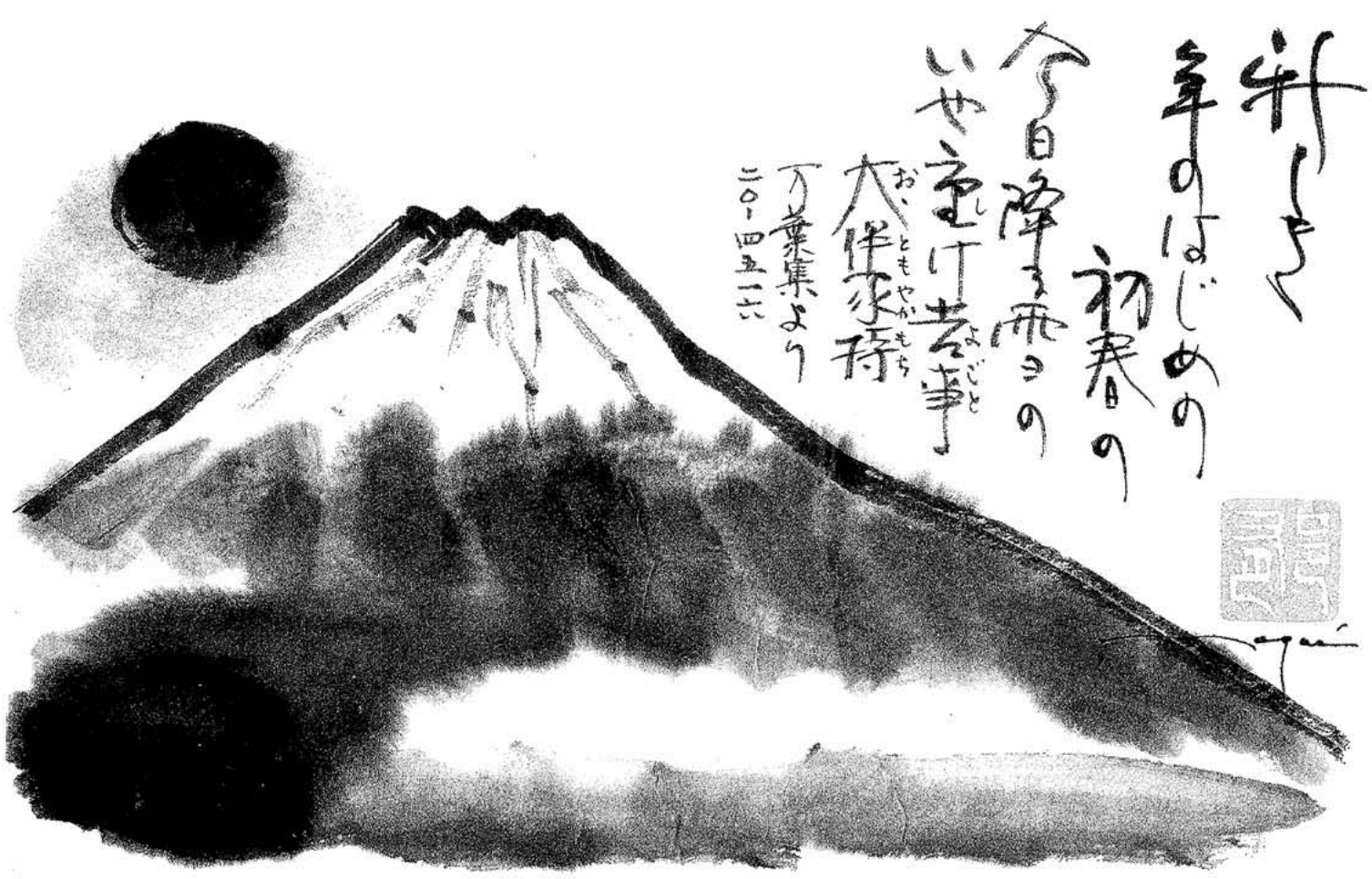
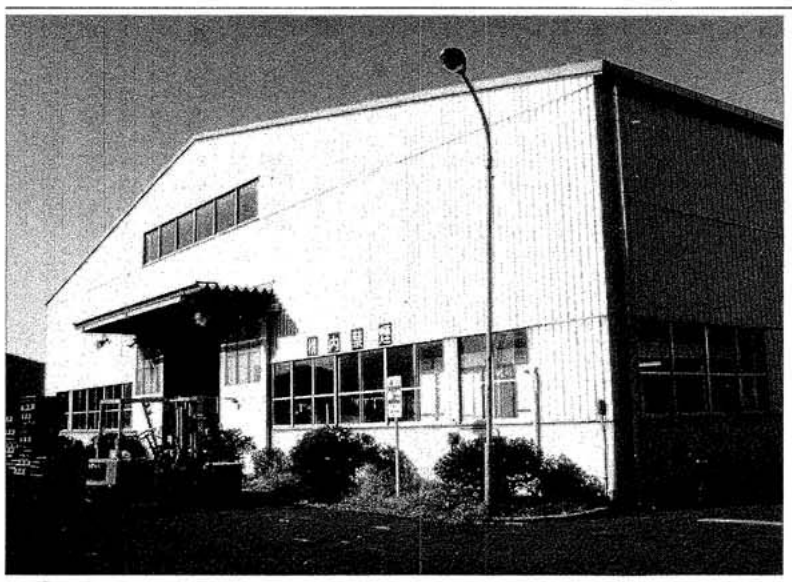


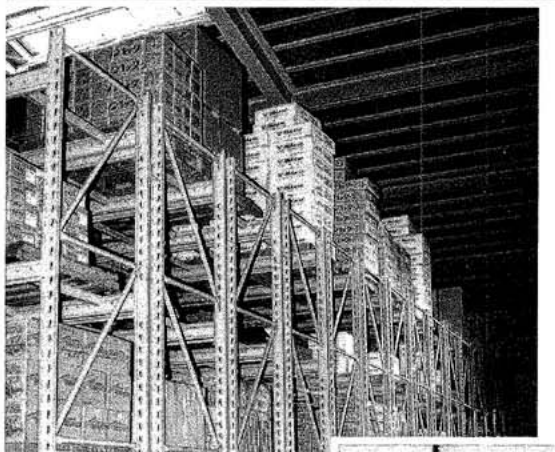
三笠ニュース

発行所
東京都千代田区猿楽町1-4-3
三笠産業株式会社
電話 東京(3292)1411 大代表
テレックス 222～4607
郵便番号 101
PR旬報 年4回発行

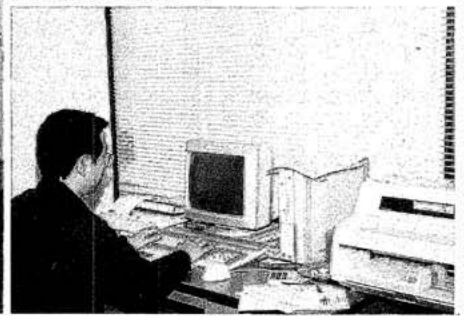
Mikasa 創立55周年記念事業

館林物流センター始動





三笠館林物流センターの外観と倉庫及び事務所の内部の様子



弊社の創立五十五周年を記念した事業計画の一つである、三笠館林物流センターが館林工場の敷地内に開設され、十二月一日より業務を開始しました。

事務所と倉庫約九百坪により国内向け製品の在庫、出荷業務の全てをここで管理運営します。

おもな作業内容としては、製品の荷受・検収業務、発送業務、保管、在庫管理業務となります。

今日の物流問題はメーカーにとって決しておろそかに出来ない問題であります。弊社にとっても、製品のシリーズ化等により、機種が年々増加し、多種化する中で、その製品を迅速に、しかも正確に、大切な販売店の皆様にお届けすることは非常に大きな課題でありました。

物流センターの開設により、出荷業務等の事務処理が本社運営部はもちろんのこと、各営業所ともコンピューター管理のオンライン化となり、営業活動に大きな手助けになることと思います。また、常時在庫状況も管理出来るため、適格な生産計画がスムーズに実行出来、健全な在庫管理を行なえるようになります。

我々所員一同弊社の営業はもちろんのこと、販売店の皆様、三笠製品をご愛用頂くユーザーの皆様に当初の目的である迅速、かつ正確に製品をお届けする為努力して参ります。皆様のご支援をお願い致します。

永山記

年頭の辞

代表取締役社長 京谷達也

平成五年の新春。明けましてお目出とうございます。

皆々様お揃いで良い年をお迎えになられたことと拝察し謹しんでお慶びを申し上げるとともに、旧年中のひとかたならないご愛顧お引立てに対し深大な感謝と御礼を申し述べずにはいられません。

平成四年を顧みますと日本経済が当面した深刻な状況にもかかわらず、私どもは比較的順調に業績を上げることが出来ました。これこそひとえに三笠をご支援下さる皆さまのお蔭でございます。三笠創立五十五周年記念事業の一環として着手の館林物流センターも旧冬完成オープンし、在庫管理から出荷業務まで極めてスムーズに稼働しました。海外営業に於きましても、大きな市場であるアメリカで高い評価を受け、東南アジアからは予想を大きく上回る好況が報告されております。

めぐり来る歳月ではございますが、新しい年の始めには幾度経験してもまた新鮮な緊張を覚えます。ひととき、心を白く澄ませて思索しておりますと世界が、風景が、まるで音楽のように澄れてまいります。そこではバブル崩壊も平成不況も一陣の風に吹き消され新しい日々の春光ばかりが踊りはじめることでしょう。野放図な楽天論をいうのではありませんが、順風も逆風も大世界規模で考えるなら、歌にも似た恵みの風ともいえましょう。

私は例年、仕事始めの日に、各自それぞれの立場で小さくとも創意工夫をし、その結集を社の発展につなげて欲しいと話します。製品の一点一点の見直しから、やがて新製品の開発へと逐次積極的に取り組んで地道に着実に歩む覚悟であります。

皆さま方におかれましても本年はまた旧に倍するご支援とご鞭撻で業界発展のためにお力添えをお願いします。

皆さまが益々のご多幸、ご健勝に過ごされますよう心から祈念申し上げ、新春のご挨拶と致します。

『絵のことば』　永井　郁

古代日本国家創成期、四五〇年にわたって日本人の愛と悲しみを赤裸々に詠いあげた万葉集は、この一首をもって四五一六首の最後を飾ります。

いま、平成の世に万葉集はあらたな意味を持つ、と私は考えるのですが……

CONET'92 建設機械展 幕張メッセ国際展示場で

日本建設機械化協会主催、建設省、通商産業省、農林水産省他関係各省庁後援の建設機械展示会が平成二年一月に引き続き千葉市の幕張メッセ・国際展示場に於いて十一月十九日㈭から二十二日㈰までの四日間にわたり盛大に開催された。

このイベントは建設業界全体のイメージの向上と建設機械及び建設技術の水準の高さを国の内外にPRするもので、今回は「二十一世紀への豊かさの創造」をテーマに国の内外の団体、メーカーなど百五十数社がそれぞれご自慢の最新鋭機を出展した他、新しい試みとして、日本の建設機械メーカーが広く海外で活躍している様子を紹介するコーナーや建設施工現場での情報管理の高度化の研究を行なっている情報化委員会の研究成果を展示するコーナーを設けるなど海外からの参観者にも配慮した展示会となった。

初日は華やかなオープニングセレモニーで幕を開け、開場と同時に大勢のお客様が入場され、三笠の展示場の前でもたくさんのお客様が足を止められ、熱心に見入っておられた。特に注目を集めたのは三笠ニュースなどでも御馴染みのマイコンバイブレーターシリーズ、MVH－200D／302DSの油圧バイブロコンパクターであった。マイコンバイブレーターは、カット見本等での説明に熱心に聞き入り、ご質問をされる方も多く、すでに使用されているユーザーさんからは、マイコンは軽いから助かる、それに仕上りも良いなどお褒めの言葉を頂いた。他には防音型ランマー、カッターの低騒音機械も注目を集めていた。また、ホワイトマンJRT搭乗型パワートロウェルをご覧になっていたお客様から「大きな芝刈機ですね」と言われたのには苦笑してしまった。

初日から最終日の日曜日まで、会場には全国各地のお客様がお見えになり、最終日日曜日の約三万人をトップに四日間で約九万人の来場者があった。まちょっと広めの事務所です。

当日の十二時三十分から披露パーティーが行われました。京谷社長から「静岡営業所の開設に際して、多くの方々に来て頂いた事を、心からお礼申し上げます。かねてから静岡県内の代理店の方々より、地元に店を持つべきだとの声がありましたが、色々な事情により延び延びになっておりました。しかし、従来の不況を打破するステップとして、活力有る営業展開をお願いしたい。」とのご挨拶があった。

続いて、メーカーを代表して、弊社第二営業部鈴木次長が「サンクス55セールの同行販売等では一部苦戦を強いられている感じもありますが、この展示会で、売って売りまくりたい。どうか、一人でも多くのお客様の動員をお願いします。」と述べ、「エイ・エイ・オー」と云うときの声の後、㈱片岡屋さんの渡辺営業部長の開会宣言によりスタートした。

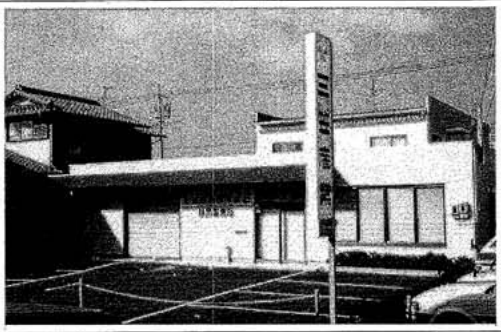
開始早々からお客様の出足は好調で、ただちにMVC－40Fプレートを御成約頂き、「斉藤組様、三笠プレートコンパクター、お買い上げありがとうございました。」と云う最初の場内アナウンスが会場に流れ、付近のブースのメーカーの方から祝福の言葉をかけられると共に、お客様の対応に目の回る様な時間が始まりました。

会場内は、お買い上げアナウンスが鳴り響く中、三笠はもちろん他のメーカーの御成約札もどんどん増えて行き和やかに、そして活気の衰えぬまま閉幕しました。二日間の来場者数は八〇〇人を越え、高い目標数字をクリア出来た結果に、主催者側も、協賛メーカー側も皆満足しているように感じました。

とにかく、来場されたお客様が、「何か、一つでも買ってやりたい」と、云う気持ちを強く感じる、ハートの展示会でした。㈱片岡屋さんにとって、創立五十五周年中の、たった二日間の出来事ではありましたがその歴史を充分に感じ取ることの出来る二日間だったと思います。筆者にとっても、忘れることの出来ない二日間になりました。

今後、㈱片岡屋さんの、益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

和泉記



㈱片岡屋55周年記念展示会 沼津営業所で盛大に開催

去る九月十二日、十三日の両日、静岡県の有力代理店である㈱片岡屋様（本社　沼津市柳町三―十一　営業所、沼津、静岡、浜松）におかれましては、創立五十五周年記念セール「サンクス55セール」の一環として、沼津営業所で記念展示会を催されました。

展示会場は、沼津市内の学園通り沿いの旧木材市場跡地。バルセロナオリンピックの競泳で、金メダルを取ったあの岩崎恭子ちゃんの通う沼津第五中学校の近くです。日頃、㈱片岡屋さんと、取引きをされている建設機械、資材等のメーカー数十社が集いました。

開会に先立ち、㈱片岡屋代表取締役美尾専務から、「バブル崩壊の影響で購入意欲が落ちているのを感じるが、政府の景気対策の為の大型追加予算により、この業界も明るい兆しが見えてくると思われる。皆様方も、この不況を打破するステップとして、活力有る営業展開をお願いしたい。」とのご挨拶があった。

続いて、メーカーを代表して、弊社第二営業部鈴木次長が「サンクス55セールの同行販売等では一部苦戦を強いられている感じもありますが、この展示会で、売って売りまくりたい。どうか、一人でも多くのお客様の動員をお願いします。」と述べ、「エイ・エイ・オー」と云うときの声の後、㈱片岡屋さんの渡辺営業部長の開会宣言によりスタートした。

開始早々からお客様の出足は好調で、ただちにMVC－40Fプレートを御成約頂き、「斉藤組様、三笠プレートコンパクター、お買い上げありがとうございました。」と云う最初の場内アナウンスが会場に流れ、付近の

三笠産業㈱静岡営業所開設 和やかに披露パーティー

かねてより計画中の静岡営業所の本店主義から、今年長野営業所を開設、新潟営業所を移転充実、そして今回の静岡営業所を開設することになりました。さらに来年は二か所くらいに営業所を開いて、きめの細かい営業をしていくつもりです。」と、挨拶した後、来賓を代表して㈱片岡屋代表取締役美尾専務さんから「先日ここの事務所を見にきたところ、スペースが広いのに感心した。三笠の意気込みを強く感じ、同時に拡販に対しての プレッシャーを感じた。京谷社長の描かれた静岡営業所になるように努力しようと思っていますので、皆様も是非ご協力してやって頂きたい。」との有り難いお言葉を頂きました。引き続き和興産業㈱高島社長さんの乾杯の音頭により和やかにパーティーが始まりました。

宴が盛り上がった頃、三笠の社員紹介があり、静岡営業所の三人（和泉、川端、石井）も、あらためて挨拶させて頂きました。

午後二時までの短い時間でしたが、皆様方の暖かい激励や労いの言葉を数多く頂くことができました。また、お祝いの電報も数多く頂き、合わせて厚くお礼申し上げます。

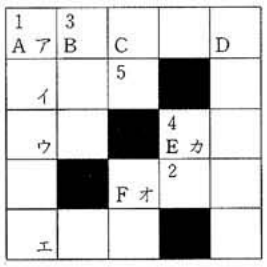
静岡営業所所員一同若さを売り物に力を合わせ、精一杯頑張りますので皆様方の暖かいご協力をよろしくお願い申し上げます。

三笠産業㈱静岡営業所
住所
〒四二二
静岡市高松二丁目二五番一八号
電話
〇五四（二三八）一一三一
FAX
〇五四（二三八）一一二七

和泉記

三笠クイズ　VOL.8

〔問題〕　タテとヨコのカギを解いて1～5の文字をつなげると、正月にちなんだ言葉が浮かんできます。さて何でしょう。



ヒント

ヨコのかぎ
- ア．一枚一枚絵をめくりながら物語を聞かせてくれます。
- イ．〇〇〇団結する。
- ウ．オオカミが〇〇をむく。
- エ．外から帰ったらこれをしましょう。
- オ．〇〇〇軽量はマイコンバイブレーターの特長の一つ。
- カ．〇〇鍋は若い女性にも大人気です。

タテのかぎ
- A．津軽〇〇〇〇〇冬景色。
- B．茶碗蒸し等にいれる香りの良い野菜。
- C．〇〇福神は福徳のある神様達。
- D．代々口を通して伝えられてきたこと。伝説。
- E．モボと〇〇。モダンガールの略。
- F．まな板の〇〇。

応募の方法　官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業（会社名）をお書きの上ご応募ください。正解者には、抽選のうえ10名様に記念品を差し上げます。

●あて先　〒101東京都千代田区猿楽町1－4－3
三笠産業株式会社
「三笠ニュース」編集室

●締切り　1993年1月31日㈰消印有効

VOL.7の答えは「イワシグモ」でした次の10名様に図書券をお送りしました。

中嶋由紀子様（北秋田郡）河野正光様（延岡市）大川静江様（千代田区）伊藤健一様（盛岡市）渡辺敏郎様（標津郡）山田みどり様（田方郡）今野豊之様（天童市）桑原和子様（小山市）柳実様（十日市町）三木喜彦様（下伊那郡）

第6回 仙台営業所感謝祭

さる十一月二十七日㈮に仙台営業所に於いて感謝祭を開催致しました。早いもので今回で六度目、大好評の「ワイン会」になってからも三度目を迎えることになり、今回も多くのお客様を迎え、賑やかに楽しんで頂きました。

今回はマイコンバイブレーターや防音型ランマー及びカッター、ホワイトマンパワートロウエル等、人気商品を全面に出し、ショーアップした会場で、普段余り目にすることの出来ない商品を充分にお目にかけることができました。

さて、今年のボジョレーヌーボーは非常に出来がよろしい、これはうまい！と松沢所長は一人で感動しておりました。しかし周りでは、酸っぱいなァとの声が多かった様です。その割りにはすごい消費量でしたが…。終いには赤くれ、白出せと、大騒ぎになる始末、〝これぞ三笠〟と誉められました(?)。こんな感じで、初冬のビッグイベントとして皆様に定着していけばと思っています。

お客様には、ワイン同様仙台牛のヒレ肉も好評でした。会終了後、高いヒレ肉代の領収書を片手にうなだれる松沢所長を横目に皆で余った肉の奪い合いをしたほどです

来場して頂いたお客様にも楽しんで頂けたと思っております。来年も今年以上に楽しくおいしい感謝祭にできるよう頑張ります。又次回お会いしましょう。

――乾杯――

越後記

にはとり いろいろ

三笠新春読本

明けましてお目出とうございます。ことしは癸酉（みずのとり）の年。「とり」といえば何となく天下取りとか高給月給取りが連想され、イイことでも起こりそうな予感がします。そこで本社総務ではいささかの資料を参考に新春読み切りの「とり読物」を編んでみました。相変らず芸も知恵もない編集姿勢だぞとのご批判もあろうかと思いますがお許しねがいます。

春はあけぼの、とりはニワトリ…とは枕草子にも書いてありませんが、古来日本ではトリといえばニワトリのことだったようです。神話「天の岩戸」ではニワトリの鳴声とアメノウズメのミコトの肌もあらわなタップダンスによって天照大神を再び世に引き戻し、天地に光明をよみがえらせました。これは日本だけの神話かと思っていたら、同じような説話がインドや中国そして東南アジアさらに北アメリカ西海岸にあることを知って、つまり環太平洋的な神話であることを学びました。

ニワトリと太陽の関係を早くもスクープした古代人の炯眼には敬服です。酉（とり）という漢字は太陽が入る西の文字中に一点を加えた象形文字だそうで即ち太陽の中にニワトリが棲んでいる信仰を現しています。中国の古画にも日輪の中に鶏を描いた図がありますからこの信仰は疑いない事実でしょう。

水力発電も火力や原子力発電もなかった昔は日光月光そして蛍雪の明りが頼りでしたから、夜明けを知らせてくれるニワトリを尊び親しんだのはごく自然です。太陽を呼び覚ます力に神秘を感じたのでしょう。今日の人々は卵肉を有難いとも思わず食べつづけ、ニワトリへの関心は薄れてしまい、子供も大人もあの明朗で特徴のあるコケコッコーと鳴く雄鳥の声すら知らなくなってしまいました。

ひと昔前までは人とニワトリは不可分な関係にあり、鶏の声のする所に必ず人の住む気配があり、芝居の筋立てでも夜明けの場面には必らず遠く鳴くニワトリの声がし、農家の舞台装置ではのどかにニワトリが餌をひろって遊んでいます。

日本語のニワトリは漢字に当てるなら庭鳥だとするのが定説で、神域、神社の庭にいるトリからニワトリというわけ。現実に伊勢神宮には今日もニワトリが放たれていますし記者はつい先日も新潟県の弥彦神社境内で立派なトサカを振り立てて悠々と無邪気に歩いている姿に身惚れてきました。

鶏の字がつく神社とか地名は日本各地にありますが、鶏神社、鶏渡神社、鶏足神社、鶏権現、鶏明神……これを民俗学の父といわれる柳田国男先生は『石神問答』などで研究発表していますが、なんとニワトリとは縁のない「ニワタリ神」というものを探し出してきたのには驚かされます。民俗学というのは数学や科学と違って明確な答えの出ない学問ですから、研究するにつれて麻薬に酔ったような世界にひろがるものです。

鶏神社の系列の中には庭渡神社とか荷渡神社、仁和多利神社などと書かれたものがあるために柳田先生は調査を続けてついにニワタリ神の研究発表をしたのですが、だからといってニワトリと無関係に扱うのには根拠が乏しく怪しげな説だとド素人ながら反論したいと思います。

◇◇◇◇◇◇◇ 百人一首のとり

お正月といってもカルタ取りや百人一首ははやらなくなりました。それでもレトロとやらで昔なつかしい図柄がデパートに陳列されているのを見かけますから救われる気分です。カルタといえば百人一首、百人一首といえば小倉百人一首となって一般に普及したのは江戸元禄の頃からといわれます。この小倉百人一首は歌道の祖と仰がれる藤原定家が編さんした歌集とされており、奈良平安鎌倉と三代の歌人百人の秀歌を一首ずつ集めてあります。

この小倉百人一首の中にはニワトリを読みこんだ歌が一首だけあり、これがまた百首の中で最高に難しくて有名です。とにかく意味がわかりません。作者はさきほどもちょっと出た枕草子の著者清少納言。ずいぶんと学識がありウィットに富んだ才女ですが本名不祥。伝説によれば三十六歌仙の一人である藤原元輔の娘として生まれ、一条天皇の中宮定子に仕えて才女ぶりを発揮、高給取りになった女性ですが晩年は年金ももらえず落魄して諸国を流浪したとも。

よく聞けば爽やかにニワトリの声が…

中国の戦国時代といえば紀元前五世紀から二世紀のこと。秦の始皇帝もまだ天下を掌握していない乱世時代、斉の国の賢人として名高かった孟嘗君が政敵に捕えられ幽閉されました。これを忠臣が危機一髪のところで救出し、追手を振りきって、函谷関という厳重な関所まで逃げてきます。時刻は夜なかのうしみつ刻。関所の門は夜が明けなければ開かず万事休すの状況です。そのとき忠臣のひとりにニワトリの鳴き声名人がいて、鳴き真似をします。すると本物のニワトリたちが一斉に暁を告げて鳴き出したので門番はあわてて門を開いた。かくして無事脱出に成功した――と。

これでは天下の剣〝箱根山〟の歌にある「函谷関ももものならず」の意味も同時に理解できたというわけで、中国故事を知っておくことの大切さを痛感！。とはいえ、その知識を鼻にかけて和歌などに詠みこんだ清少納言さんはさぞかしイヤーなタイプの女性だったでしょうね。

もうすぐ義理チョコのバレンタインデーが来ます。春のトリが愛をささやき始めることに由来する風習とか。人類が鳥類に愛着をもつのは何といってもその美しい鳴き声のためです。どうしてあんなにも技巧をこらした音の旋律を組立てたものか驚かされます。カナリヤやウグイスの繊細なメロディーとは趣が違うものの、ニワトリの声は独特な勇壮さ明朗さ、腹の底からの解放感があって気持ちのいいものです。わが社でも屋上に鶏舎を作って当番で餌をやり美しいオンドリの声を猿楽町一帯に聞かせてやりたいですね。

上掲色紙は今は亡き京谷弘道会長の作句遺墨「**隣村覗いて来たか揚ひばり**」を飾らせて頂きました。

我・ら・三・笠・ピ・ー・プ・ル・ズ

氏　名　和泉 仁（いずみ ひとし）
生年月日　昭和30年 3 月27日
出身地　北海道
所　属　第二営業部静岡課
家　族　妻と双子の息子

――日頃はどんな仕事をしていますか？

十一月三十日までは第二営業部第一課に所属していました。担当地区は静岡県の中西部地区で、一週間の内三日から四日位の出張スケジュールで、ディーラーさんを訪問したり、ディーラーさんと同行販売等をさせて頂いていました。

十二月一日から静岡営業所を開設する事になり、所長に命ぜられました。仕事の内容はあまり変わらないと思いますが、お客様に近くなることで迅速な対応が可能になると思います。

――いま最も関心を持っていることはなんですか？

趣味はたくさんありますが、現在凝っているのはおウマちゃん、即ち競馬です。身を滅ぼさない様に少ない額で楽しんでおります。当然の事ながら馬券は外れ続けていますが、私は馬の走っている姿を見たり、レースの展開を読むだけでも楽しいので、あまり気にしない様にしています。でも悔しい思いをして涙を流しているのが本当の私の姿です。

――お客様に一言どうぞ

三笠に入社して早くも半年が過ぎました。ふと気が付いてみると私は静岡県にいたのでした。暖かな気候のこの土地で、富士山のような大きな仕事がしたいなあ。山崩れしないように頑張りますので皆様よろしくお願い致します。

氏　名　川端岳人（かわばた たけひと）
生年月日　昭和40年 5 月17日
出身地　北海道
所　属　第二営業部静岡課
家　族　独身

――日頃はどんな仕事をしていますか？

十二月から静岡に来て和泉所長に連れられてお得意様へ挨拶廻りをしています。早く一本立ちして新製品のPRや技術指導等本来の営業活動を行うべく羽ばたいて行きたいと思っておりますので、どうか撃ち落とさないで下さい。

――いま最も関心を持っていることはなんですか？

趣味はたくさんありますが、現在凝っているのはおウマちゃん、即ち競馬です。身を滅ぼさない様に少ない額で楽しんでおります。当然の事ながら早く免許を取っていろんな所に行って、行動範囲を広げたいと思う今日この頃です。でも回りの人は、どういう訳か私に免許を持たせるととっても危ないらしく批判的です。でも私は絶対に免許を取りたいです。

――お客様に一言どうぞ

静岡に来てまだ右も左も解りませんので、ご迷惑をおかけすると思いますが、頑張りますので、あまりいじめないで下さい。よろしくお願い致します。

氏　名　石井奈穂美（いしい なほみ）
生年月日　昭和43年 7 月23日
出身地　山形県
所　属　第二営業部静岡課
家　族　独身

――日頃はどんな仕事をしていますか？

本社に勤務していた時は、山梨県と静岡県担当課の事務をしていました。今度は静岡営業所の事務を担当させて頂きます。

――いま最も関心を持っていることはなんですか？

静岡県は伊豆、富士山など観光のメッカ、ドライブするには最高のところだと思います。パーツとドライブに行きたいと常々思っているのですが、私はまだ免許がありません。早く免許を取ってドライブがしたいなあ。

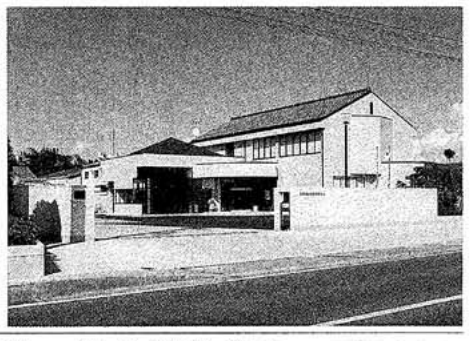
――お客様に一言どうぞ

今は営業所の運営の事で頭が一杯なのですが、少しゆとりができたらモーツアルトのオペラ（フィガロの結婚、ドンジョバンニ、魔笛のいずれか）を聞きに（観に）行きたいと思っています。また、今まであまりやったことのなかった魚釣りも覚えたいと思っています。

――お客様に一言どうぞ

なにぶん営業所が開設されたばかりなので、色々と不手際があることと思われますが、何卒ご協力お願いします。また、拡販のアイデアがございましたらお聞かせ頂きたいと思います。

北角機械販売㈱本社新築と展示会



北角会長と新社屋

滋賀県南部地区の代理店として永年ご協力をいただいております北角機械販売㈱様（本社滋賀県甲賀郡土山町大野・会長北角貞勝氏）では、ご創立三十周年を記念して本社社屋を新築され、九月三日、披露式典と展示会が開かれました。

新築された本社社屋は二階建、延べ建坪五三〇平方メートルで近代的な瀟洒な建物であります。その地続きには広大な従来の商品管理建物とレンタル機管理用地があり、活発な拠点として活用されています。

同社は北角会長によりご創業されて、当初は山林機械の販売から出発され、その後建設機械の販売並びにレンタル業（別会社近江リースを併営）にと進出され今日に及んでおられます。

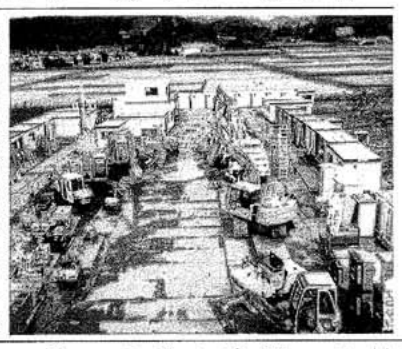
披露式典に続いて二日間の展示会には多数のご来場者があり、三笠製品の拡販に大いに寄与していただきました。

当日の披露式典には我社より小野社長が出席し、北角会長初めご令室様並びに社員皆様にご祝辞を申し上げました。

今後益々のご発展を心からお祈り申上げます。

三笠建設機械㈱守本記

幸和機械㈱・幸和リース㈱
北秋田営業所開設記念展示会



秋田県の弊社代理店であり、東北三笠レンタル会の理事をお願いしている幸和機械㈱、幸和リース㈱様（社長　福田幸夫氏本社秋田県能代市浅内字横道一九―一）におかれましては、この度平成四年十月一日をもって北秋田営業所（秋田県北秋田郡鷹巣町綴子字前野一〇二―一）をオープンされ、お客様へのご挨拶ご披露を兼ねて九月二十五日、二十六日の両日展示会を開催された。新営業所は総面積四〇〇〇平方メートルを有し、国道七号線に面しており、大型車両の出入りも容易であるため、大館市方面や能代市方面への行き来も非常に便利である。

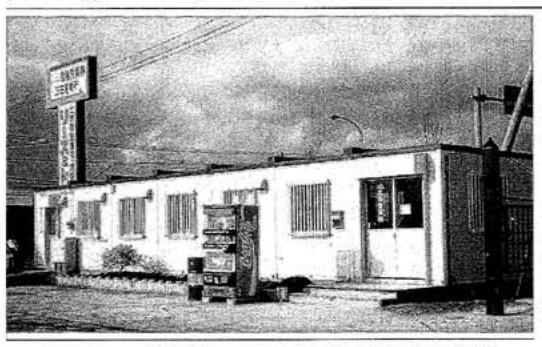
鷹巣町は古くから林業関係の町として栄え、ギネスブックでも認定された世界一の大太鼓の町としても有名である。またこの地域には大館能代空港（仮称）の建設も決定し、大館市と共に秋田県北の空の玄関として発展が期待されているところである。

展示会当日はあいにくの天気にもかかわらず、地元ユーザーさんを初め大館市、郡部からも大勢のお客様がお祝いにかけつけ、この日の為に新規に購入された大型建設機械から小型建設機械器具まで幅広く展示された品々を熱心にご覧になり、幸和機械㈱さんや幸和リース㈱さんによせるユーザーの厚い期待がひしひしと感じられた。弊社からもマイコンバイブレーターを初めバイブロコンパクター、コンバインドローラー等も展示され、土木関係者を初め管工事業者、建築業者の皆様にも好評を博した。

幸和機械㈱、幸和リース㈱さんの今後益々のご発展をご期待申上げます。

小笠原　記

㈱カナモト・レンタル事業部
苫小牧新営業所が堂々落成



建設機械レンタル業の大手である㈱カナモト様（本社　室蘭市港南町一―六―十一・社長　金本太中氏）は兼ねてから建設を進めていたレンタル事業部・苫小牧営業所の新社屋をこの程目出度く完成され、九月二十八日、落成開会式が行われました。

同苫小牧営業所は、苫小牧鉄鋼事業部と共用していた苫小牧市新明町の事業所が狭隘になったことから同市新開町二丁目三番九号に移転し新築されたものです。

新営業所の総敷地面積は四万五百二十四平方メートルと建機レンタルの営業拠点としては国内最大級の規模とのこと。この新営業所の完成により、全国に五十二ケ所を擁する同社レンタル事業部の中核基地を担っていく形になります。

尚、当日は開会式の後、午後から落成披露パーティーが開かれ、席上、金本社長は「建設機械レンタル業界の営業所としては国内最大級の規模のものが完成した。レンタル事業部の営業、整備、格納を一体化した中核基地とし、一層の事業展開を図っていきたい。」と力強く挨拶されました。

又、これに先立って行われた記者会見では、建機レンタルの景気見通しについて金本社長が「建設業界は厳しい状況の中にあるが、短期的には国の総合経済対策や大型補正予算による公共事業の拡大がある。長期的にも日米構造協議の関係から、見通しは明るいものと考えている。」と話され、今後の事業展開に関しては「道内、東北ブロックのネットワーク化は整ってきたことから、関東甲信越以西に向け展開を図っていきたい。」と答えられた。㈱カナモト様におかれましては今後益々のご活躍をご期待申上げると共に、レンタルにそして販売に三笠製品の活躍の場を広げていただけることを確信し、更なるご繁栄を心よりお祈り申上げます。

丸山　記

北海産業㈱
三笠営業所を開設

北海道地区で幅広くレンタル業を営み、また弊社の有力な代理店としてご活躍されております、北海産業㈱様（本社　苫小牧市あけぼの町一―二―十三・社長　伊藤武史氏）は、本年をもって創業三十周年を迎えられ、その記念事業の一環として四月に函館営業所、五月に北広島営業所を開設され、そしてこの度道央圏の充実を目指し、十月六日、本年三か所目の新規店として三笠営業所をオープンされました。

北海産業㈱様としましては十一店舗目になります三笠営業所は札幌より約五十キロメートル、国道十二号線沿いの三笠工業団地内に位置し、道央自動車道三笠インターチェンジより五分と立地条件にも恵まれ、敷地も約三千三百坪と広いヤードを有しており、その中にはお客様をお迎えする明るい事務所を初めとし、クレーン付倉庫、門型クレーン等最新の設備を整えております。

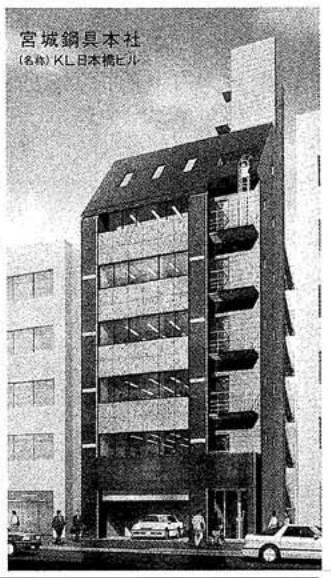
この度の三笠営業所の開設を機に静内営業所より転任された鈴木所長様は、今までの実績、経験を生かしレンタル、販売、サービスの三本柱を軸に地域ユーザーと密着した営業を展開される方針とのことです。

三笠製品も営業所開設にともない高周波バイブレーター、ランマー、プレート、ローラー初め現在各地で好評を集めているマイコンバイブレーターも大量にレンタル機としてご採用頂きました。

伊藤社長を初め鈴木所長他社員の皆様の三笠製品の普及、拡販のご努力に感謝申し上げますと共に今後益々のご繁栄と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

向成　記

宮城鋼具㈱本社新築落成



弊社の永年にわたる有力代理店であり、卸業界に於ける老舗であります宮城鋼具㈱様（本社東京都中央区小伝馬町六―十一・宮城眞一社長）におかれましては創業六十周年の記念行事の一環として進めておりました本社ビル新築工事が完成し、十一月二十日に関係者取引先約二百名のご出席のもと盛大に新社屋竣工披露パーティーを行われました。

当日は十二時より真新しいビルの三階、四階、五階のフロアを利用してパーティーが行われ、弊社より京谷社長が出席し、宮城社長様初め社員の皆様に心からお祝いを申し上げました。

新社屋はもともと東京日本橋の一等地にある従来の本社社屋の真向かいにあった倉庫の跡地に、地上七階地下二階のビルを建てられたもので、（名称KL日本橋ビル）今までの本社ビルは東京営業所（大和所長）と倉庫として今後も使用されます。

また同時期に秋田営業所も三階建ての営業所・倉庫を新築され、東北地区でのより一層密度の濃い営業を展開されます。

席上宮城社長は「六十周年記念行事として本社ビルを完成させましたが、これを機に一層、お客様、仕入業者様、そして宮城鋼具の三位一体で邁進すべく努力して参ります」と挨拶されました。

本社新築落成を機により一層のご発展と会長様社長様並びに役員・社員の皆様の益々のご活躍とご健勝を心からお祈り申し上げます。

神田記

足立建機㈱本社社屋新築
近代設備の倉庫も完成

足立社長と新社屋

足立建機㈱様（京都府福知山市荒河小字声和田・社長　足立篤弘氏）には懸案の本社社屋並びにサービスヤードがこの度、目出度く新築完成されました。

同社とはご創業時より取り引きをお願いし爾来十八年間、現在京都府北部の代理店とし当初より変らぬ積極的な姿勢で三笠製品の拡販普及に多大なご協力をいただいております。

本社社屋は国道九号線に面した立地条件に恵まれた地に、敷地四〇〇〇平方メートルに三階建て（一部四階）延べ一三〇〇平方メートルの重厚な建物であります。

倉庫部分は延べ一五〇〇平方メートルの規模で、当地では珍しい自動走行ラックを装備した近代的なものであります。

新築完成を記念して十一月七日～八日の二日間盛大に展示会を催されました。

展示会では三笠の誇るオリジナル商品のマイコンバイブレーターや、油圧式前後進バイブロコンパクターを初め三笠製品全般にわたっての販売が出来、久方振りの大型契約高となり、満足のいく成果を得ることが出来ました。

これも偏に足立社長さんの平素のユーザーとの深いつながりとメーカーを大切にされるお気持ちとが実ったものと紙上をかりまして改めて厚くお礼申し上げます。

足立建機㈱さんの今後益々のご発展を祈念申上げます。

三笠建設機械㈱吉村記